

## HDP-4/Express II/MATE のリセット方法

- HDP-3 以前と HDP-4 以降ではリセット方法が異なります。
- HDP-4 以降の機種には2つのリセット方法があります。
- セーフモード(Safe Mode)とノーフィルターモード(No Filter Mode)<sup>※1</sup>です。

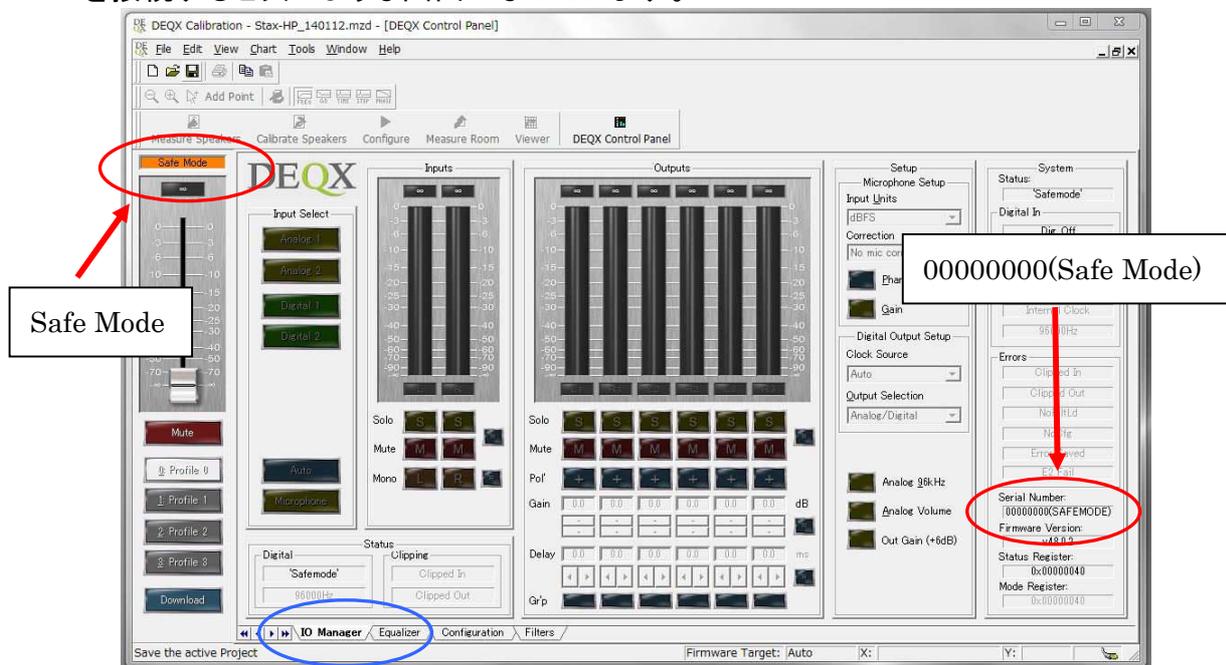
※1: 正確には、ノーフィルターロードモード(No Filter Load Mode)と言います。

注) 「P3+電源 ON」のリセットは Room EQ データーが消えるので**嚴重注意**です。

1. **セーフモード**はファームウェアに異常がある場合の救済方法です。
  - a) 機器の障害でこのモードになる場合と、強制的にこのモードにする場合があります。
  - b) このモードに入るとフロントパネルの全ての LED が青色で点滅します。
  - c) セーフモードが正常に復帰するとフィルターや EQ のデーターは保持されています。
2. **ノーフィルターモード**は設定データに異常がある場合の対処方法です。
  - a) データーを DEQX に転送すると途中でエラーとなる場合があります。
  - b) パネルの LED が「赤、赤、赤、黄色、赤、赤、黄色・・・」に点滅(フォルトモード)した時。
  - c) このモードに入ると Room 補正用の EQ データーが消滅します。

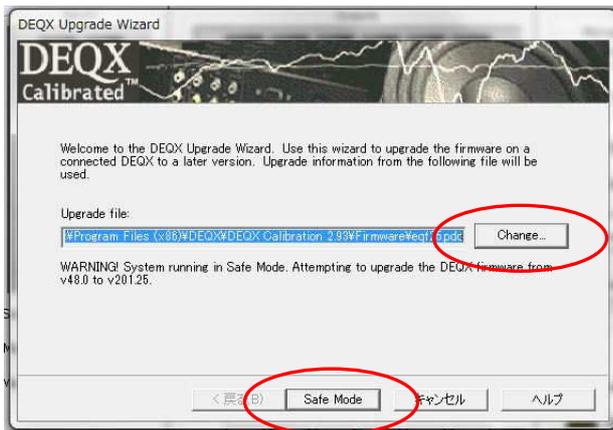
### <セーフモードからの復帰方法>

1. DEQX がセーフモードになるとフロントパネルの全ての LED が青色で点滅します。
2. P1/P2/P3 を押しながら電源を入れ、10 秒ほど保持するとセーフモードで起動します。
3. PC を接続すると次のような画面になっています。



[図1] セーフモードに入った時の PC 画面

4. セーフモードは改めてファームウェア(Firmware)を入れることでリセット出来ます。
5. メニューから「Tools」を選択 → Upgrade DEQX firmware from file...をクリックします。
6. Upgrade file の窓の右側にある **Charge** をクリックし、適切な Firmware を選択します。



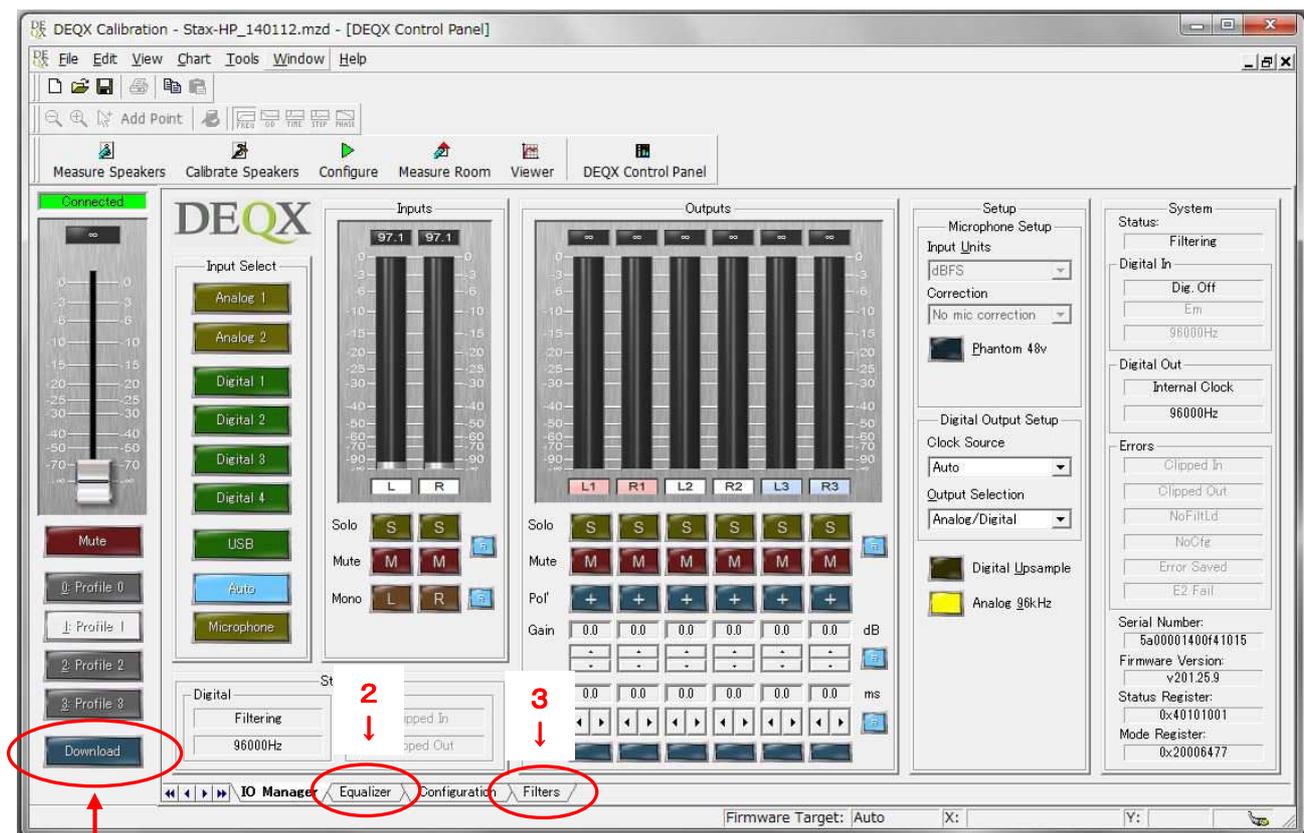
[図2] DEQX Upgrade Wizard の画面-1



[図3] DEQX Upgrade Wizard の画面-2

7. 画面下のボタンに **Safe Mode** の表示が出ますので、それをクリックします。
8. 初期化 → Firmware の転送 → 保存 → DEQX の再起動 → 完了、と進みます。
9. ファームウェアが正常にインストールされたら画面下の **完了** ボタンをクリックします。

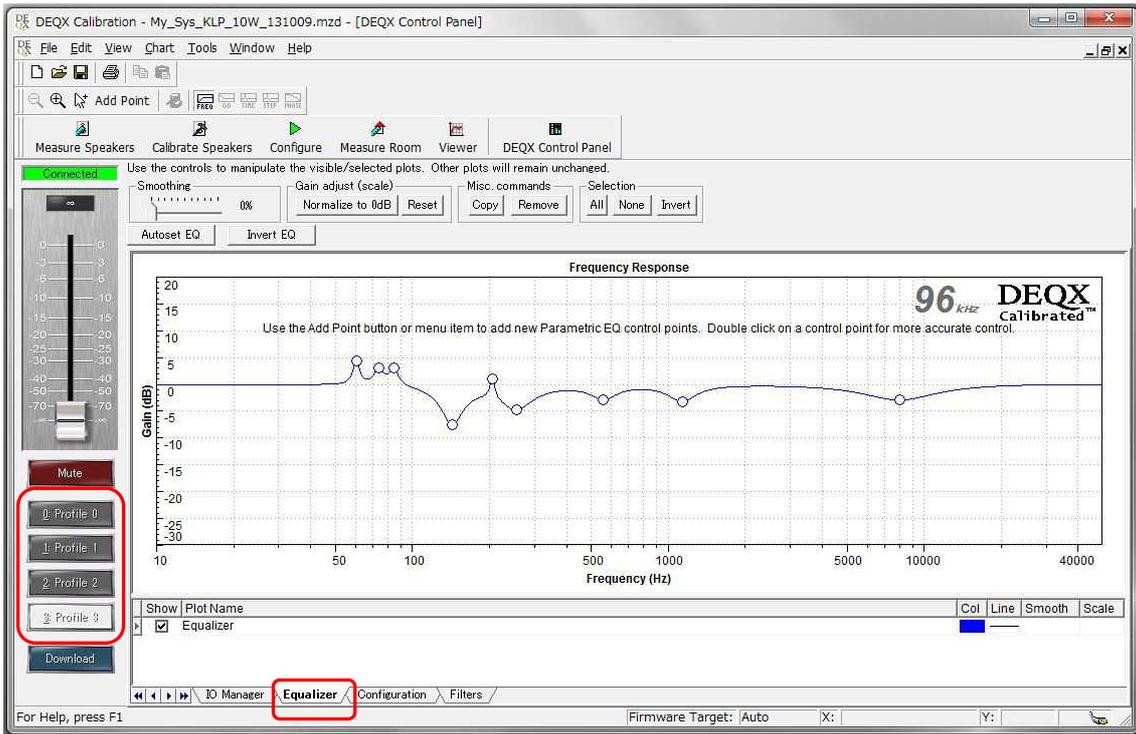
- セーフモードからの復帰が完了したら DEQX 内部のデータを確認します。



[図4] 正常な動作に戻った DEQX Control Panel の画面

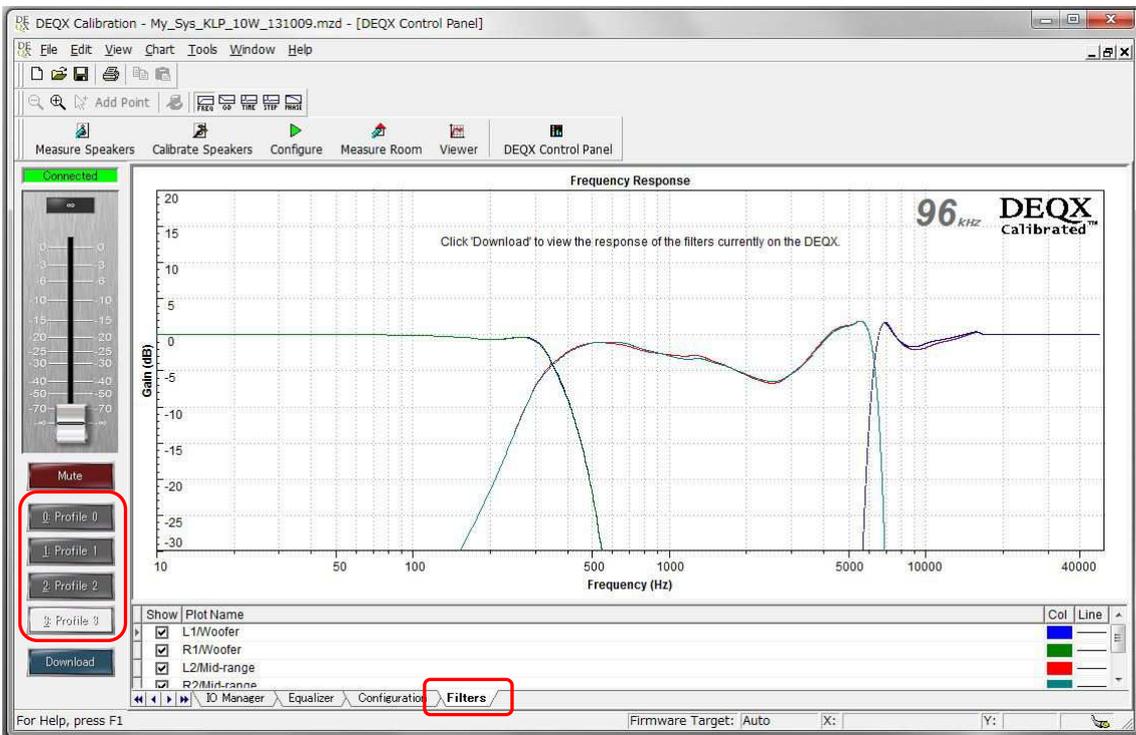
1. Download ボタンをクリックすると DEQX 内部データが PC に送られます。
2. Equalizer タブを押して EQ 情報(図5)があるか確認します。
3. Filter タブを押し、フィルター情報(図6)が残っているか確認します。

#### 4. Equalizer 情報の確認画面



[図5] Equalizer タブで EQ 情報を表示する(プロフィールを切り替えてデータを確認する)

#### 5. Filter 情報の確認画面

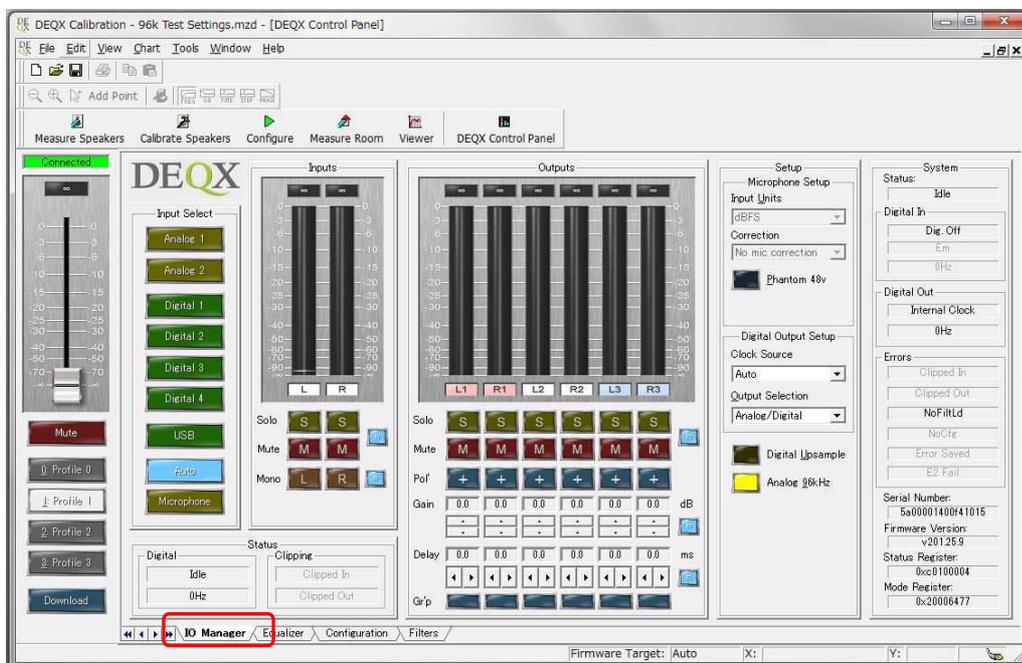


[図6] Filter タブでフィルター情報を確認する(プロフィールを切り替えて内容を確認する)

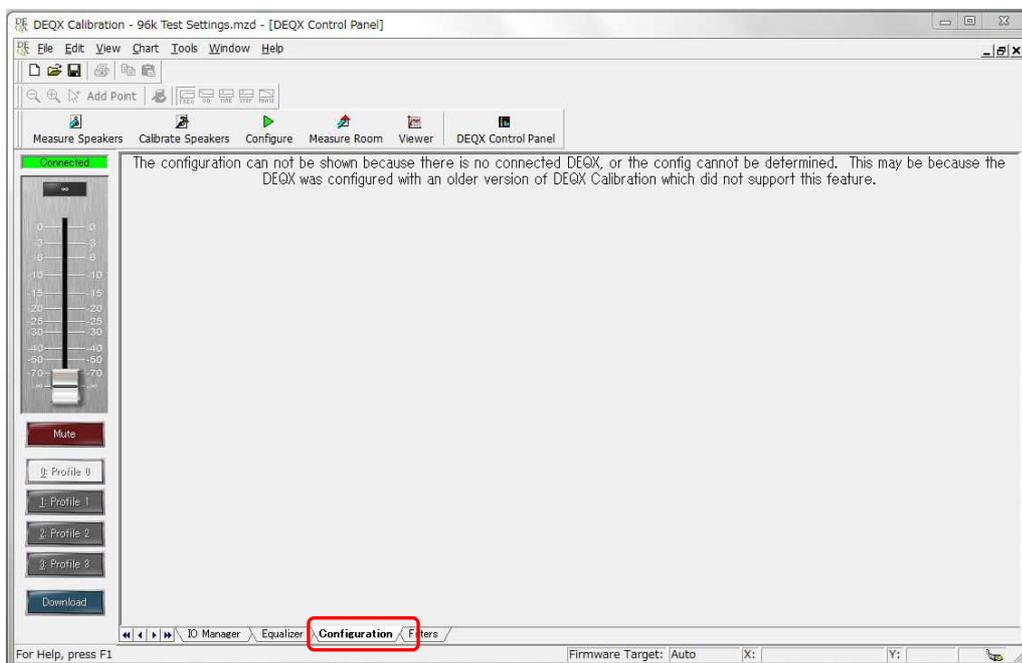
- 以上で Safe(セーフ)モードからの回復は完了です。

## <ノーフィルターモードからの復帰方法>

1. 設定データを DEQX に転送する途中でエラーとなった場合などの復帰方法です。
2. P2 と P3 を押しながら電源を入れ、10 秒ほど保持するとセーフモードで起動します。
3. DEQX のパネルにある VR 表示を除いた 4 箇所 LED ランプが黄色に点灯します。
4. PC を接続すると次のような画面になっています。



[図7] DEQX Control Panel の「IO Manager」画面は一見正常に見える。

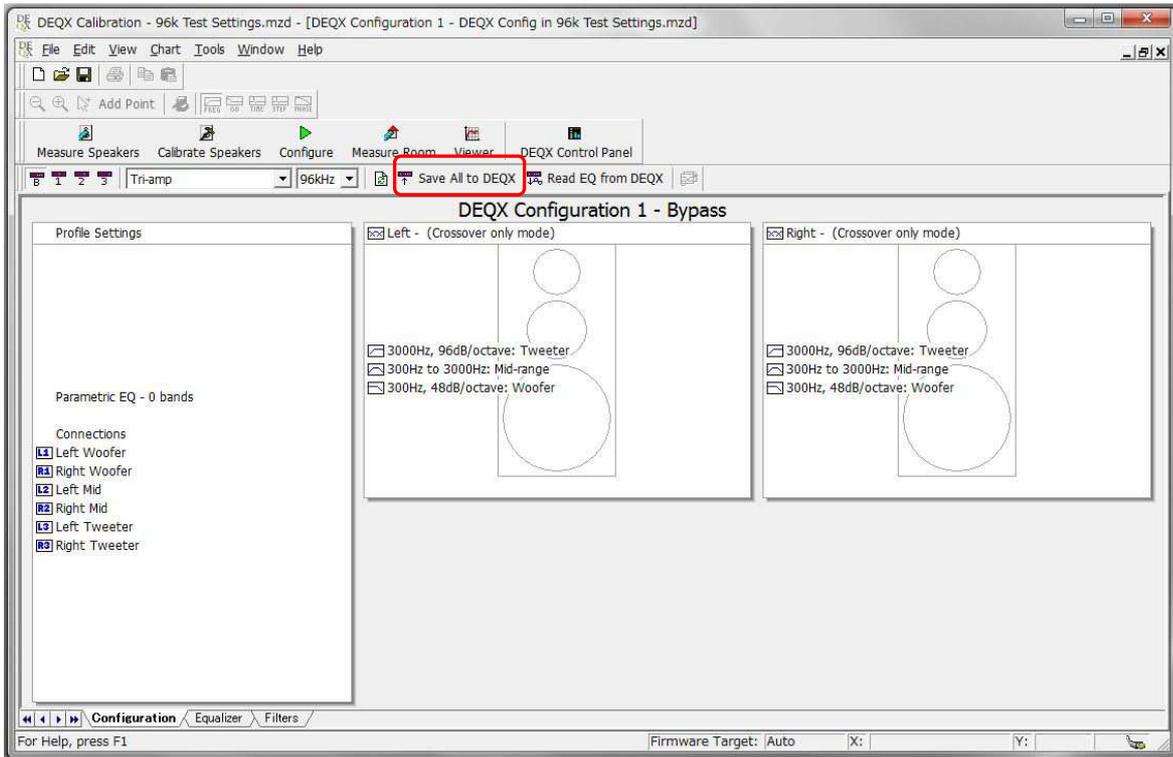


[図8] 「Configuration」画面を見るとエラーメッセージが表示されている。

この状態で正常なデータ<sup>(※1)</sup>を Calibration ソフトに読み込みます。

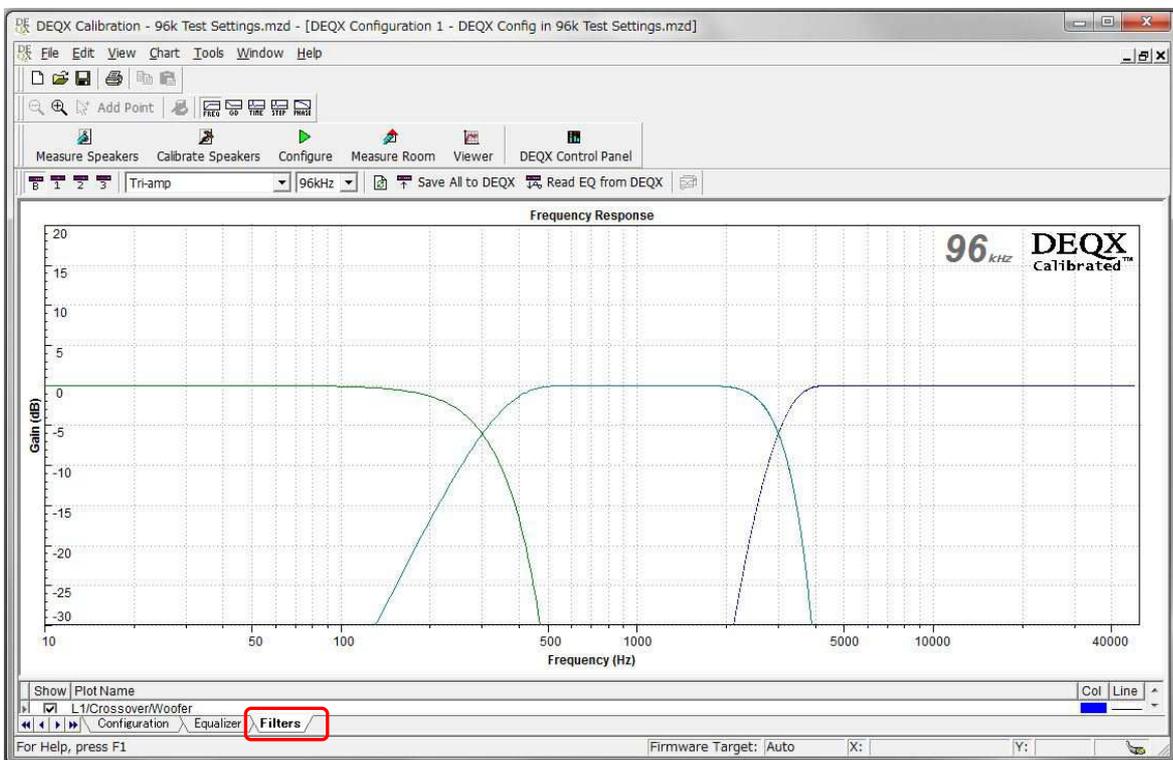
※1 DEQX 社から提供された「[96k Test Settings.mzd](#)」を使用します。

7. 「Configure」の Wizard 画面でデータを選択して Load すると下の画面になります。



[図9] 「300Hz,48dB/octerve」と「3000Hz,96dB/octerve」のフィルターがセットされています。

8. 「Save All to DEQX」をクリックしてデータを DEQX に流し込みます。

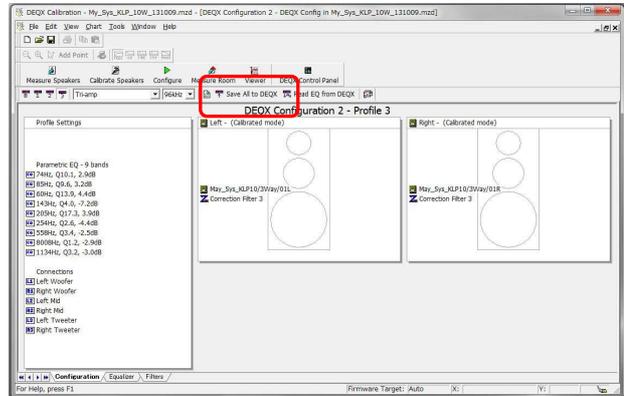


[図10] データの転送が終わったら「Filter」タブを押して確認します。

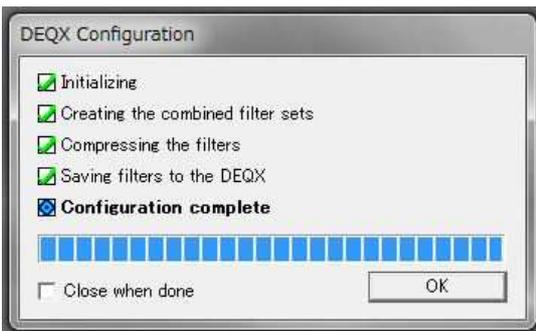
8. 次に実際に自分のシステムで使用するデータを DEQX に送ります。
9. **転送時に問題を起こしたデータは絶対に使用しないでください。**
10. それ以前の正常なデータがあればそれを DEQX に送ります。(図 11～参照)
11. 使用できるデータがなければこの段階で改めて設定データを作ります



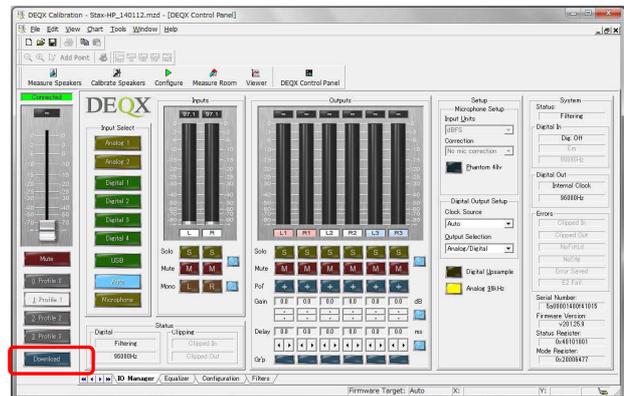
[図 11] データを読み込んで Configure から Next → Load .. → Finish



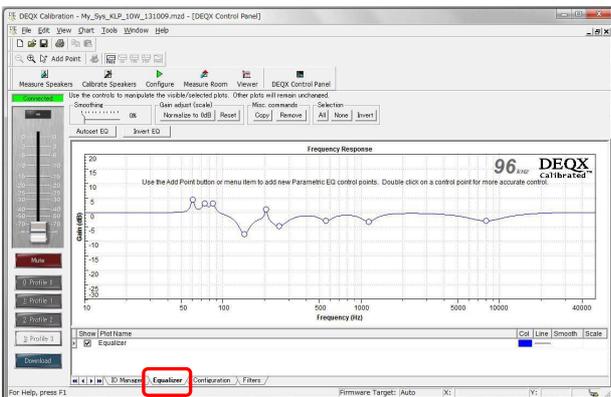
[図 12] データを確認して Save All to DEQX



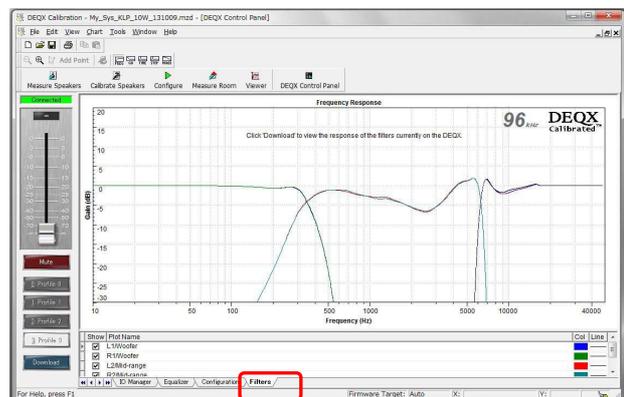
[図 13] データの転送が完了



[図 14] Download ボタンを押してデータを表示させる



[図 15] Equalizer タブでデータを確認



[図 16] Filter タブでデータを確認

- 以上で No Filter Mode(ノーフィルターモード)からの回復が完了です。